

【現場除雪事例：H13 北海道 49】

除雪工夫分類	A1:事前計画・調整 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	深川留萌自動車道 秩父別町 雨竜川橋上部工事
施工場所	北海道雨竜郡秩父別町～沼田町
工期	平成 13 年 6 月 13 日～平成 15 年 1 月 14 日
使用機材 / 機械	雪かきスコップ、雪かきスノーダンプ / ショベルローダバケット 1.8m ³ 、タイヤショベル 0.4m ³ 、ブルドーザー 7t 湿地、小旋回バックホウ
現場除雪の工夫・留意点等	あらかじめ除雪量を想定し、集積位置を数ヶ所決めておいたこと。ショベル、ブルドーザ、バックホウと除雪の場所、対象物別に機械を使い分けること。



ブルドーザによる除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 56】

除雪工夫分類	A2:気象情報確認・活用 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道37号 白老町 虎杖浜改良工事
施工場所	北海道白老町字虎杖浜
工期	平成13年6月22日～平成14年3月15日
使用機材 / 機械	雪かきスコップ / タイヤショベル 0.4m ³ 、バックホウ 0.2m ³ 、ダンプ 4t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>天気予報を参考にし、作業ミーティング時に指示をする。現道を使用しての作業なので、現場施工箇所と仮歩道部を除雪する。仮歩道部は、機械が使用できないので、雪かきスコップで対応。現場内では、タイヤショベル、バックホウを使用し、ダンプで運搬。この地域は、降雪量が少ないので、除雪作業で施工時間を無駄にすることはなかった。</p>

【現場除雪事例：H13 北海道 102】

除雪工夫分類	A2:気象情報確認・活用 / D2:路面・法面への配慮 / B3:機械（機材）の適切な選定 / F:その他
工事種別	道路工事
工事名称	平成12年度帯広広尾自動車道 芽室町 西土狩東改良工事
施工場所	北海道河西郡芽室町西土狩
工期	平成13年3月6日～平成14年2月28日
使用機材 / 機械	除雪スコップ、ママさんダンプ / タイヤショベル 0.3m ³ 級、バックホウ 0.7m ³ 級、バックホウ 0.4m ³ 級、ダンプトラック 11t、ダンプトラック 4t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>降雪が予想された場合、前日のうちに現場入口附近に除雪機械を集めておく。舗装道路を除雪する場合、舗装を削り込まない様に多少雪を残して除雪し、誘雪剤等によって残りの雪をとかず様にする。除雪スコップはプラスチック製では破損が激しいのでアルミ製を用いる。運搬路が狭いので、除雪排雪作業は大型機械（0.7m³ 級バックホウや11tダンプ）を使わずに中型機械（0.4m³ 級バックホウや4tダンプ）を使用する。排雪した雪を現場内空地に集積するにあたって、春の早い時期の融雪をうながす為に極力南側もしくは西側の陽あたりの良い、排水の良い所に集積する。</p>
	
<p>日当たりの良い所への集積</p>	


【現場除雪事例：H13 北海道 171】

除雪工夫分類	F:その他 / B3:機械（機材）の適切な選定 / A2:気象情報確認・活用
工事種別	道路工事
工事名称	地（局） - 2 2 2 屈斜路津別線 局部改良工事（路盤工）
施工場所	北海道川上郡弟子屈町
工期	平成 13 年 10 月 18 日～平成 14 年 3 月 20 日
使用機材 / 機械	除雪用スコップ / ロータリー除雪車 200PS、除雪用タイヤショベル 4.8t（0.9m ³ ）
現場除雪の工夫・留意点等	運搬路にあたっては、既設の道路幅を確保するのにロータリーで雪をとばし、現場内の資材等が埋まらない様に除雪した。雪の降った量に対し機械を選択した。週間の気象情報を常に注意し、運転手と打合せを密に行った。



ロータリーで除雪

【現場除雪事例：H13 新潟県 33】

除雪工夫分類	A2:気象情報確認・活用 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	平成13年度 県道室谷津線 ふるさと道路事業道路改良工事 ふる道1003号
施工場所	新潟県東蒲原郡上川村大字神谷甲広瀬地内
工期	平成13年6月19日～平成14年3月15日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.6～0.8m ³ 級、ダンプトラック 10t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>作業当日の朝に除雪作業を行うと当日の工程の工程に遅れが生じる為、あらかじめ天気予報で情報収集を行い、前日の午後よりある程度の除雪搬出を行うようにする。人力で除雪を行うと時間と労力が掛かり、またブルドーザで排雪を行えば両脇に寄せるのみで、数日間で山となる。やはりバックホウ（0.8m³クラス）を2台使用し、ハネツケを行いながらの作業が効率の良い除雪が出来る。</p>
	
<p>スノーポール設置</p>	

【現場除雪事例：H13 北海道 41】

除雪工夫分類	C1:作業員の安全 / B3:機械（機材）の適切な選定 / A3:除雪範囲の明示
工事種別	道路工事
工事名称	羽幌道路維持事業所管内 道路施設補修外一連工事
施工場所	北海道初山別村～羽幌町～苫前町
工期	平成 13 年 7 月 14 日～平成 14 年 3 月 29 日
使用機材 / 機械	スコップ、雪かき / ブルドーザー 3t、バックホウ 0.2m ³ 級、バックホウ 0.7m ³ 級、ダンプトラック 4t
現場除雪の工夫・留意点等	作業区域が一部車道にあり、片側交互通行で行い、一般車両との接触事故が起きないように注意して行った。仮設道路及び作業箇所は、資材搬入、作業開始時間に影響のないように除雪時間等の打合せを行った。除雪中の作業区域を最少にするために、必要ぎりぎりの機械を選定した。（片側交互等）障害物、構造物附近に目印（棒など）立て、作業においては人力による。



【現場除雪事例：H13 北海道 48】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	深川留萌自動車道 北竜町 奥美葉牛改良工事
施工場所	北海道雨竜郡北竜町美葉牛152番地
工期	平成13年5月31日～平成14年3月12日
使用機材 / 機械	排雪スコップ / タイヤショベル古河 FL305、ブルドーザー小松 D60P、油圧・バックホウ 0.小松 PC120、油圧バックホウ 0.7m3 級小松 PC200
現場除雪の工夫・留意点等	<p>工事用道路等の除雪経路及び範囲に於いてはポールあるいは見出し杭を立てて目印として行った。積雪が多くなっても運転手が分かる様に。工事用道路については、タイヤショベルで除雪し、広い範囲のヤードでは、D60P ブルドーザで、施工中の護岸工事等の掘削開口部内では、油圧バックホウと人力の両方で、そして防護囲いの屋根においては、人力のみで除雪する様にして、各場所に応じた方法（機械）で実施している。</p>



防寒仮囲いの屋根除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 62】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / C1:作業員の安全 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道274号 鹿追町 紅葉道路改良工事
施工場所	北海道河東郡鹿追町
工期	平成13年12月6日～平成14年3月28日
使用機材 / 機械	除雪用スコップ / バックホウ 0.7m ³ 、バックホウ 0.45m ³ 、タイヤショベル 2.0m ³ 、ダンプ 10t
現場除雪の工夫・留意点等	既設公共施設を損傷しないように位置等を調査し、又積雪により見えなくなるものには、見出しを立て、降雪時にも位置確認出来る様にし、降雪時には、機械と人力の併用の作業を行った。又、取付道路、交差点は、左右の安全確認が行いやすいように、両脇に雪山を設けないよう除雪を行った。面積の有る土捨て場は、タイヤショベル、支障物件の多い現場内は、バックホウを使用し用途に合わせて使用機械を選定した。



現場内除雪状況

【現場除雪事例：H13 岩手県1】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	胆沢ダム付替2 - 2（のそ4）工区改良工事
施工場所	岩手県胆沢郡胆沢町若柳地内
工期	平成13年3月14日～平成14年1月31日
使用機材 / 機械	ホイールローダ FL310-1（1.3m ³ ） バックホウ EX200（0.7m ³ ） ブルドーザーD65EX（18t級）
現場除雪の工夫・留意点等	<p>工事中道路の路肩に赤旗付きポールを立てて、路肩の表示を行い、除雪作業の目印としています。場所に応じた機材の使い分け</p> <p>ホイールローダ - 工事中道路、現場詰所及び現場事務所 バックホウ - 現場内 ブルドーザ - 土捨場</p>

【現場除雪事例：H13 岩手県 6】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	高木道路改良工事
施工場所	岩手県花巻市高木地内
工期	平成 13 年 11 月 22 日～平成 14 年 3 月 29 日
使用機材 / 機械	除雪用スコップ / バックホウ 0.45m ³ 、バックホウ 0.2m ³ 、ホイールローダー 1.2m ³
現場除雪の工夫・留意点等	<p>施工範囲内に除雪した雪が残らない様に施工区域を赤旗で示した。 1 . 普通のバックホウでは除雪効率が悪いので、排土板付きのバックホウを使用した。 2 . 積雪量が多い時は、排土板付きのバックホウでも効率が悪いので、ショベルローダーを使用した。</p>



排土板付バックホウ使用

【現場除雪事例：H13 北海道 5】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道40号名寄市大和橋下部工事
施工場所	北海道名寄市字智恵文
工期	平成13年12月4日～平成14年3月22日
使用機材 / 機械	タイヤショベル 1.2m ³ 級、バックホウ 0.4m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	現場はAM7:30より作業開始のため、除雪作業車はAM7:00より除雪作業を開始する。タイヤショベルで搬入路を除雪し、バックホウは場内の除雪を行う。搬入路の除雪距離が3KMあるので、小型のタイヤショベルでは能力不足のため、大型の1.2m ³ 級タイヤショベルを早朝に調達(リース)し、現場内に常駐した。



出入口部除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 51】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道231号浜益村 床丹覆道上部工事
施工場所	北海道浜益郡浜益村大字群別字床丹
工期	平成13年3月15日～平成14年3月8日
使用機材 / 機械	スコップ、ジョンバ / ホイルローダ 0.4m ³ 、ブルドーザ（湿地）5t 級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>工事用車両が毎日出入するため、作業開始前、早出をして運搬路等の除雪作業を行う。宿舍の出入口、駐車場も除雪を行うため（現場と宿舍約2km）機動性のよいタイヤショベルを使用。ブルドーザは現場のみの除雪作業に使用。</p>



【現場除雪事例：H13 北海道 160】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道231号 増毛町 日方泊トンネル
施工場所	北海道増毛郡増毛町岩尾
工期	平成13年8月1日～平成16年3月26日
使用機材 / 機械	0.8m ³ 級 タイヤショベル、1.3m ³ 級 タイヤショベル、10t ダンプ
現場除雪の工夫・留意点等	本作業前（AM7:00）に除雪を終了させるためAM6:00より除雪をすることズリ運搬ダンプ現場外集積場に排雪する抗口ヤードと吹付プラントヤードが約3.0km離れていて国道も走行しなければならないためそれぞれのヤードに専用のタイヤショベルを配置している



車道部排雪及び融雪作業

【現場除雪事例：H13 北海道 39】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定 / B1:除雪範囲の限定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道277号 熊石町臯月橋下部工事
施工場所	北海道爾志郡熊石町大谷
工期	平成13年8月7日～平成14年3月20日
使用機材 / 機械	ホーキ、スコップ、ママさんダンプ / ミニバックホウ0.2m3、ダンプトラック4t
現場除雪の工夫・留意点等	河川敷地が近くにあったので現場内に集積し、置ききれないものについては4tダンプにより土捨て場の隅に運搬した。機械による除雪が困難なため新雪のうちに人力で除雪した。日々の除雪作業は重労働となるので除雪スコップはプラスチック、アルミ製の材質にした。降雪前に施工箇所を狭めて除雪箇所を減少に努めた。



新雪時除雪作業

【現場除雪事例：H13 北海道 113】

除雪工夫分類	B1:除雪範囲の限定 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道37号 長万部町 礼文華舗装外一連工事
施工場所	北海道山越郡長万部町字静狩
工期	平成13年7月13日～平成14年3月15日
使用機材 / 機械	スコップ、雪かき用スコップ / タイヤショベル 0.4m ³ 、モーターグレーダ 3.3m 級、路面ヒータ（灯油） バックホウ 0.2m ³ 、ロータリ除雪機、塩カル散布機
現場除雪の工夫・留意点等	<p>施工前日に翌日施工する箇所の除雪（特に端部を重点的に人力で）、施工当日は天候を確認し、クレーダ及びタイヤショベルを使用し除雪し塩カル散布し路面ヒータを使用し路面を乾燥させ舗設を開始する。除雪幅施工幅、施工延長等の数量により、グレーダー、タイヤショベル、バックホウ小型ロータリー除雪機、ロメンヒータ、ガスパーナーを使い分け使用する。片側交互通行での施工の場合は、規制区間全線に塩カル散布機を使用し散布する。</p>
	
<p>路面乾燥状況</p>	

【現場除雪事例：H13 北海道 117】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定 / B2:現場機材の活用 / A4:早出や終了時の除雪
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道230号 虻田町 泉北歩道補修工事
施工場所	北海道虻田郡虻田町字泉
工期	平成13年11月9日～平成14年3月8日
使用機材 / 機械	油圧バックホウ 0.45・、油圧バックホウ 0.2・、タイヤショベル 0.4・、ダンプトラック 4t、ダンプトラック 10t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>工事施工箇所は、バックホウタイヤショベルにて、道路用地内に堆積。道路用地内に堆積する場所がない場合は、ダンプトラックにて排雪して工事用の借地に堆積。一般道路は、通行規制の状況路面状況に応じて塩カル散布を行う。バックホウは、工事で使用するものを利用し、タイヤショベル4tダンプトラックは、除雪排雪用に常に現場に置く。排雪には、場合により10tダンプトラックを使用する。作業開始時の除雪作業を極力減らす為、1日の施工延長を短縮し完成断面まで施工できるよう計画を立てる。（例えば、1日の予定が100mの路肩盛土の場合、30mを盛土法面整形張芝まで行う。）後日、施工する箇所は、シートにより覆う。</p>



【現場除雪事例：H13 北海道 52】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道238号稚内市豊岩登坂車線設置外一連工事
施工場所	北海道稚内市宗谷村字豊岩
工期	平成13年6月29日～平成14年1月24日
使用機材 / 機械	ミニタイヤショベル 0.4m ³ 級、タイヤショベル 2.7m ³ 級、バックホウ 0.4m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	車両規制（道路幅員）に使用している路肩及びセンターバリケードを人力により撤去し積もった雪を人力により施工場所より搬出。ミニタイヤショベル及びバックホウにて雪を集積し路外へ搬出作業範囲が狭い為小回りのきくミニタイヤショベルを使用した。作業終了後、作用帯として使用していた道路を大型のタイヤショベル及びミニショベルを使用して除雪を行い道路を開放した。



雪をバックホウで路外へ排雪

【現場除雪事例：H13 北海道 61】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道274号 士幌町外 中音更道路修繕工事
施工場所	北海道河東郡士幌町中音更
工期	平成13年8月31日～平成13年1月1日
使用機材/機械	除雪スコップ/バックホウ 0.45m ³ 、ダンプトラック 4t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>車道部の除雪は道路幅員が狭い為、交通規制(片側交互通行)をかけて除雪しました。又、工事施工区間は舗装を撤去し、路面が路盤状態であるのと大型車両の通行が多く、雪が踏み固められる為、バックホウを使用し削り取り、4t ダンプトラックに積込み、現場外集積地に運搬しました。現場施工箇所、工種で完成箇所は、機械は使用しないで除雪スコップを使用しました。</p>

【現場除雪事例：H13 北海道 107】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	深川留萌自動車道 北竜町 美葉牛橋下部外一連工事
施工場所	北海道雨竜郡北竜町
工期	平成 13 年 3 月 29 日～平成 14 年 2 月 6 日
使用機材 / 機械	雪はねスコップ、雪運搬用そり（ママさんダンプ）/ ホイールローダーシヨベル 0.4m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	除雪出動初期に除雪範囲を最大限に広げておく事に留意した。降雪日が連続した場合にはすぐにヤードや通路が狭くなり後々の除雪の能率が悪くなる。作業ヤード及び工所用道路の幅に対して除雪作業がベストになる機種選定に留意した。



工所用道路 機械による除雪作業状況

【現場除雪事例：H13 北海道 123】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道452号芦別市 炭山川橋下部工事
施工場所	北海道芦別市中の丘町
工期	平成13年8月2日～平成14年3月26日
使用機材/機械	タイヤショベル 1.2m ³ 級、バックホウ 0.7m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	工用道路の片側盛土区間と堀削部の除雪機械を路外転落防止のため、バックホウによる際雪としました。



工用道路出入口除雪状況

【現場除雪事例：H13 北海道 129】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道230号札幌市板割沢舗装工事
施工場所	北海道札幌市南区
工期	平成13年3月29日～平成14年2月28日
使用機材/機械	除雪用スコップ、角スコップ/モーターグレーダー3.7m、タイヤショベル1.2m ³ 、タイヤショベル0.5m ³
現場除雪の工夫・留意点等	人力にて、端部の雪をかき出し、モーターグレーダーで道路中央に集め、タイヤショベルで小山を作り、ダンプトラックにて、搬出する。圧雪状態の場合は、モーターグレーダーの排土板の刃先をノコ刃に取り替え、氷を削り取る。



グレーダーによる除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 133】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	旭川紋別自動車道 上川町 日東改良工事
施工場所	北海道 上川郡 上川町
工期	平成 13 年 12 月 15 日～平成 14 年 3 月 25 日
使用機材 / 機械	雪かきジョンバー、ノブドーザ D30P 6t 級、バックホウ 0.7m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>器材資材等の除雪は、人力により行い、機械にて集積する。集積された雪が用地外に出ないように注意した。ウ)凹凸の多い所、狭い所はバックホウを使用。集積しやすいよう、除雪機械のブレードの向きが変わるものを使用。</p>



ブルドーザによる除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 156】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	道道天人峡 美瑛線 天人橋架換（上部工）工事
施工場所	北海道上川郡東川町天人峡
工期	平成 13 年 7 月 5 日～平成 15 年 11 月 19 日
使用機材 / 機械	
現場除雪の工夫・留意点等	積雪量が多い為、多少の積雪でもこまめに除雪を行った。資材の仮置の際に十分配慮し、タイヤショベルで除雪できる範囲を広くとれるようにした。0.4 m ³ と 1.0 m ³ のタイヤショベルを除雪範囲の広さにより使い分け効率的に除雪を行った。集積場所を常に考慮に入れ、場内の整理整頓を徹底した。



タイヤショベルによる除雪

【現場除雪事例：H13 青森県 9】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	相野地区橋梁補修工事
施工場所	青森県青森市篠田3丁目地内
工期	平成13年3月20日～平成14年1月31日
使用機材/機械	トラクタショベル LX30-3 0.5m ³ 、ハンドガイト式小型ロータリー-8PS
現場除雪の工夫・留意点等	歩道部に仮ガードレール、フェンスを設置して規制をかけているため、現場進入路部、歩道規制部、施工箇所毎に、使用機械、作業方法をわけて作業しています。



機械除雪状況

【現場除雪事例：H13 青森県 12】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	柏崎地区歩道工事
施工場所	青森県八戸市青葉一丁目～柏崎一丁目地内
工期	平成 13 年 10 月 24 日～平成 14 年 3 月 29 日
使用機材 / 機械	角スコップ、一輪車、ツルはし / バックホウ 0.25m ³ 、ダンプトラック 4t、ダンプトラック 2t
現場除雪の工夫・留意点等	除雪により除去できない凍結、圧雪部分に対して融雪剤を散布してから除雪した。（特に当現場では歩道）



【現場除雪事例：H13 青森県 21】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	交第5号 国道338号交通安全施設整備工場
施工場所	青森県むつ市中央～小川町地内
工期	平成13年9月26日～平成14年3月25日
使用機材/機械	角スコップ/タイヤショベル 0.15m ³ 、ダンプトラック 4t、バックホウ 0.25m ³
現場除雪の工夫・留意点等	タイヤショベルですき取れない場合は、バックホウにて行った。天気の晴れた日に行った。現場が歩道部という条件があるので、小型機械を使用した。



【現場除雪事例：H13 岩手県 22】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	付替国道道路改良工事
施工場所	岩手県盛岡市 川地内
工期	平成 13 年 6 月 7 日～平成 14 年 3 月 13 日
使用機材 / 機械	融雪剤 / タイヤショベル 0.5m ³
現場除雪の工夫・留意点等	現在の施工状況が掘削残土処分の段階で、進入路の確保が、必要であり、タイヤショベルによる除雪後融雪剤散布（スリップ防止）の手順で行っています。タイヤショベルは骨機等小運搬用のものを使い、タイヤチェーンを装着させた。融雪剤散布には、少量で広範囲に散布させるために、農薬散布用の散布器を使用した。（巾 6 m × L 3 0 0 m の道路 2 0 K 入 6 袋の手まきが 2 0 K 入 2 袋でまにあった。）



タイヤショベルによる除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 6】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道40号名寄市南瑞穂改良工事
施工場所	北海道名寄市内湊
工期	平成13年11月3日～平成14年3月22日
使用機材 / 機械	ブルドーザ D3C、小型除雪機（ロータリー式）10馬力
現場除雪の工夫・留意点等	<p>施工法面にシートを敷設してシートの滑る作用を利用して雪を法尻に集めて人力により除雪を行った。工事用道路については、ブルドーザを使用小段の除雪については小型除雪機（ロータリー式）を使用ブルドーザ（D3C） 小型除雪機（ロータリー式）10馬力。</p>
	
<p>施工法面の人力による除雪</p>	

【現場除雪事例：H13 北海道 115】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定 / B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道274号占冠村溪流災害防除工事
施工場所	北海道一般国道274号 勇払郡占冠村
工期	平成13年11月21日～平成14年3月20日
使用機材 / 機械	角スコップ、除雪スコップ / タイヤショベル 0.3m ³ 、ブルドーザーD40、バックホウ 0.7m ³ 、キャリアダンプ 4t 積み
現場除雪の工夫・留意点等	現場出入り口については現場開始前にタイヤショベルで作業員連絡車等の駐車スペースを確保する。工事用道路についてはタイヤショベルとブルドーザーにて除雪する。法面、路肩、側溝等についてはバックホウ及び人力にて除雪する。工事用道路が2ヶ所に分かれており除雪用にタイヤショベルとブルドーザーの2台を用意する。キヤタピラーについては横滑り等の防止のためワイヤーを巻く爪を取り付ける等の処置をする。タイヤには滑り止めチェーンを巻く。小機材や資材等の細かな物については単管で屋根を作りシートで養生する。



1次盛土施工前法面除雪状況

【現場除雪事例：H13 青森県 10】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	船岡地区歩道工事
施工場所	青森県南津軽郡碓ヶ関村大字碓ヶ関地内
工期	平成 13 年 10 月 23 日～平成 14 年 3 月 25 日
使用機材 / 機械	スチール製角スコップ、アルミ製角スコップ、プラスチック製雪へら / バックホウ 0.45m ³ 、ダンプトラック 4t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>次回除雪作業がし易いように人力除雪部分にはシートでおおいをしておく。人力除雪は障害物のないところへ出し、バックホウとダンプトラックで排雪する。新雪には軽くて大きめのアルミ製スコップ、プラスチック製雪へらを用いる。圧雪には重量感があり丈夫なスチール製スコップを用いる。氷結した部分にはツルハシ等を用いる。現場が狭いので除雪機械はローダーよりバックホウを用いる。</p>



シート養生

【現場除雪事例：H13 岩手県1】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道282号 一本木地区道路改良工事
施工場所	岩手県岩手郡滝沢村一本木地内
工期	平成13年9月21日～平成14年3月25日
使用機材 / 機械	スコップ
現場除雪の工夫・留意点等	ボックスカルバート工において、躯体内へ雪が入らないようにシート養生を行い、施工開始前に除雪、シート撤去を行った。また、車両進入箇所は、人力にて除雪をし、現場内に車両を入れた。機材は、凍結がひどくない場合は除雪用スコップ（プラスチック製）、凍結している場合は普通スコップを使用した。養生シートが雪の重さでたわんだりしないように、シートの下には足場板、木材等を入れた。

【現場除雪事例：H13 北海道 46】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定 / C1:作業員の安全
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道336号 広尾町ルベシベツ法面防災工事
施工場所	北海道広尾町字イモケシ
工期	平成13年10月4日～平成14年3月28日
使用機材 / 機械	タイヤショベル 1.2m ³
現場除雪の工夫・留意点等	<p>使用機械の選定にあたっては、起動力のあるタイヤショベルとしたが大きさについては大型の機械は細部まで除雪ができないので小型の機械は馬力不足のため時間がかかるので、1.2m³ 級タイヤショベルとした除雪の範囲の見通しが悪いので広尾側、えりも側にガードマンを配置し一般車両には、十分注意をした。</p>



タイヤショベルによる除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 38】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道228号 福島町 福島情報ボックス設置工事
施工場所	北海道福島町字福島
工期	平成13年3月13日～平成14年2月18日
使用機材 / 機械	角スコップ、プラスチックスコップ / バックホウ 0.25m ³ 、小型ダンプ 4t 車
現場除雪の工夫・留意点等	歩道部の舗装作業なので、民家周辺は排雪を行った。路盤材が凍上していたため路面に凹凸があり、スコップが引っかかるため人力作業では無理なので0.25m ³ バックホウで排雪後、塩カルを散布し、路盤整正作業を行った。



機械除雪作業

【現場除雪事例：H13 北海道 144】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	平成12年度施行 一般国道334号 斜里町 於近改良外一連工事
施工場所	北海道斜里郡斜里町字以久科・日の出
工期	平成13年3月1日～平成14年2月13日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.4m ³ 級、ダンプトラック 10t、タイヤショベル 0.5m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	迂回路の除雪作業で現道よりも低い高さにある為、風向きにより吹き溜まりがはっせいするので歩道等の確保に留意した。交通量が多いので交通誘導員を配置し明確な合図を行い、作業場所と車輛停止位置に余裕をとり第3者災害防止に努めた。ガードレール及びガードパイプ脇に吹き溜まった硬い雪の固まりを除雪するにあたりタイヤショベル等の機械を使用するとスイッチバックをするスペースが確保出来ないためにバックホウの小旋回型を使用し、片側交互通行で作業出来る機種を選定を行った。



機械除雪

【現場除雪事例：H13 青森県 4】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / C2:住民・通行者の安全 / E:地域住民への配慮 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	洞内地区交差点改良工事
施工場所	青森県十和田市大字洞内字後野～字妻ノ神 地内（国道4号線）
工期	平成13年3月27日～平成14年3月5日
使用機材 / 機械	角スコップ（アルミ製）、ツルハシ、ガスバーナー、竹箒 / バックホウ 0.25m ³ 、タイヤショベル 0.40m ³ 、ダンプトラック 2t、ダンプトラック 4t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>路盤、路床に雪が混入しないよう、ブルーシートを敷き（冬期間は毎日作業終了後敷設）降雪があった場合、人力及びバックホウ（0.25m³）で除雪。歩道部において併用させながらの施工ではブルーシートの上に、滑り止めのマットを敷設。除雪の処理は、民家等が近接しているため、バックホウ及び人力により2t～4tダンプトラックに積込み、当社資材置き場に運搬集積。当現場は現道拡幅工事であると共に、民家等とも近接しているため、小型機械により除雪。スコップはアルミ製の軽量かつ、普通より大きめのものを使用。</p>



電熱マットによる凍上防止と融雪


【現場除雪事例：H13 岩手県 15】

除雪工夫分類	E:地域住民への配慮 / B3:機械（機材）の適切な選定 / C3:振動・騒音対策
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道106号黒沢の5地区他道路災害復旧(13災33号34号35号36号37号38号39号)工事
施工場所	岩手県下閉伊郡川井村黒沢～達首部
工期	平成13年11月2日～平成14年3月7日
使用機材 / 機械	スコップ、塩カル / モーターグレーダー3.1m級、路面ヒーター大型、タイヤショベル0.3m3級
現場除雪の工夫・留意点等	モーターグレーダーにて施工範囲（路肩）まで除雪を行う。端部、民家入口は人力にて除雪を行う。車道部は路面ヒーターを使用し残っている雪、氷等を解かす。ヒーターが使用できない所は塩カルを散布する。歩道はタイヤショベルにて通路を確保する。モーターグレーダーは低騒音、排気ガス対策車を使用。



路面ヒーター稼動状況

【現場除雪事例：H13 北海道 135】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / B4:シートの活用 / B3:機械（機材）の適切な選定 / C4:土砂混入軽減・防止
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道230号札幌市板割沢改良工事
施工場所	北海道札幌市南区豊北
工期	平成13年3月1日～平成14年2月18日
使用機材 / 機械	スコップ等除雪道具 / タイヤショベル、0.7m ³ 級バックホウ、10t積ダンブトラック
現場除雪の工夫・留意点等	支障の無い限り、埋戻し、整地を行い、見出し等を建て重機による作業を容易にする。土砂碎石資材等はブルーシートで囲い、人力での除雪作業を容易にする現場内においては、作業する重機で行い資材置場、運盤路等は除雪専用タイヤショベルを常駐する除雪集積した雪は市、管理、雪捨場に運搬する現場内除雪時、土砂等が混入しない様気を付けるが下が土砂なので必ず土砂が混入する。雪を分別し雪捨場に運搬する
	

【現場除雪事例：H13 青森県 2】

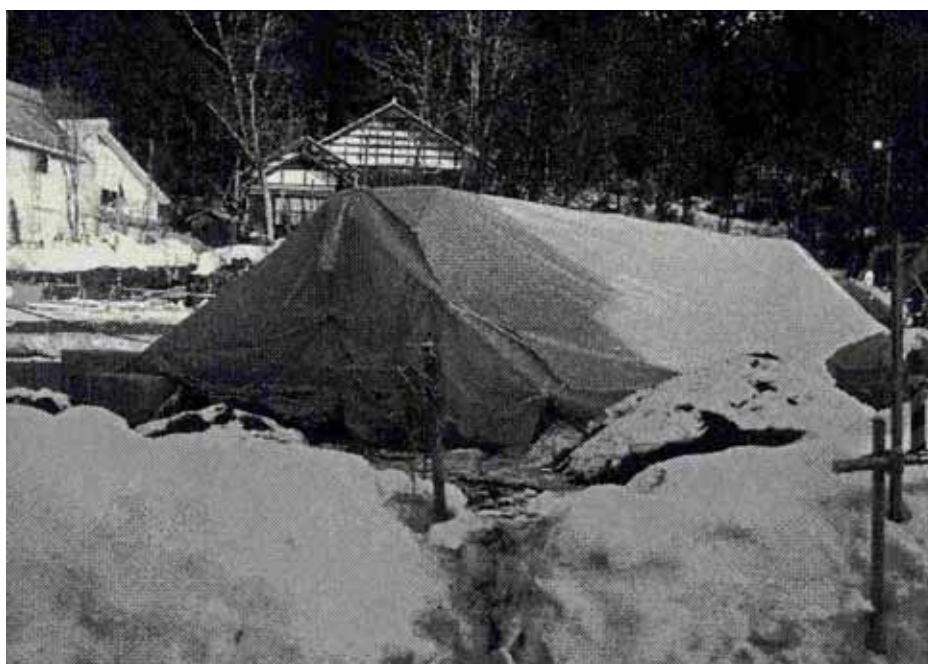
除雪工夫分類	D1:構造物への配慮 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	下流工事用道路黒土地区工事
施工場所	青森県弘前市大字黒土地内
工期	平成 13 年 10 月 13 日～平成 14 年 3 月 29 日
使用機材 / 機械	雪スコップ、スノースダンプ / バックホウ 0.7m ³ 、バックホウ 0.25m ³ 、タイヤショベル WA100
現場除雪の工夫・留意点等	現場周辺は流雪溝があって地域住民がほぼ毎日除雪を行いグレーチングの蓋が解放されればなしの所が多く重機除雪の場合損傷させないように、構造物を人力で露出させてから機械除雪を行う。歩道等の場合は大きな機械が入れない為スペースに合わせて機械を変更する必要がある。電機設備（回転灯等）がある場合はすべて人力にて行われなければならない又電機のコード等が凍っている場合もあるので十分注意して除雪を行わないと切断する事があるので注意している。



回転灯は配線を切らないように除雪

【現場除雪事例：H13 新潟県 15】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / B3:機械 (機材) の適切な選定 / D2:路面・法面への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	国局第13 - 00 - 00 - 00号 国403号 一般国道特殊改良一種 (坊金拡幅) 工事
施工場所	新潟県東頸木郡安塚町大字坊金地内
工期	平成13年7月13日～平成14年3月15日
使用機材 / 機械	スコップ、スノーダンプ / バックホウ 0.4m3 級
現場除雪の工夫・留意点等	降雪が予想される場合はブルーシートで構造物を覆い降雪に備える。降雪の場合は、大半の雪をバックホウで除雪し、その後ブルーシート上の雪を人力で除雪する。作業場の除雪完了後バックホウで現場内の空地に集積する。人力除雪する場合は、スコップ又はスノーダンプを使用するが、アルミ製の軽いもので雪が付着しないようにワックスを塗っておくと作業がしやすい。機会除雪する場合はバックホウを使用するが、舗装道路の場合は路面を傷つけないようにゴムのキャタピラ機械で一回に多くに雪を移動できる排土版付きのバックホウを使用した。



構造物をブルーシートで養生する

【現場除雪事例：H13 北海道 63】

除雪工夫分類	E:地域住民への配慮 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道242号 本別町 仏美里橋下部工事
施工場所	北海道本別町仏美里～足寄町郊南
工期	平成13年5月24日～平成14年3月26日
使用機材 / 機械	タイヤショベル WS30(0.3m3)
現場除雪の工夫・留意点等	本別側の現場出入口には民家が1軒ある為、出入に支障がない様に民家前の通路を優先し、除雪作業を行っています。現場内が狭い為、本体工事に支障の無い様、小型のタイヤショベルを使用した。



工事関係車輛及び民家出入口の除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 138】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定 / E:地域住民への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道230号札幌市石山交差点改良工事
施工場所	北海道札幌市南区
工期	平成13年7月27日～平成14年1月15日
使用機材 / 機械	0.2m ³ 級バックホウ、0.4m ³ 級バックホウ 0.4m ³ 級、1.2m ³ 級ショベルローダ 1.2m ³ 級、10t級ダンプトラック 10t級
現場除雪の工夫・留意点等	車線減少規制による冬季夜間作業で車線幅が狭く、大部分が縦断であり、0.2m ³ 級バックホウで4tダンプへ積み込み、排雪。又、ショベル積み込み可能なスペースがあれば、バックホウでかき出し、ショベルで積込む。上記については、ショベルで積込めるヤードを、周辺住民の方のご理解をもって行いました。



除雪、積み込み、排雪状況